

2019年6月1日

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 6月えんだより

6月聖句「息のあるものはこそって 主を賛美せよ ハレルヤ」

<詩編 150 章 6 節>

初夏の暑さを感じる季節になりました。綺麗な草花が咲き、地中の生き物が顔を出し、活動的な季節になりました。子ども達も毎日の生活に慣れてきて、自分の気持ちを出しあいながら遊ぶ子ども達の姿が目に見えます。心が開放された無邪気な姿に、いつも心が洗われる思いになります。

さて、今年度の近隣の小学校の学校教育目標を拝見させていただきますと「自分の思いを豊かに表現し、つながり合う子を育てる」とされています。そして、「3つの「わ」和・話・輪を大切にする子」を目指す、とされています。今の子ども達にとっても、そして未来を見据えた大切な先生達の願いが包含されていると感じました。乳幼児期の子ども達は、自分と保護者の世界から、周りの世界に気づき、共に日々を過ごす友達を意識し始めて育ち合っていきます。その過程には、人間として生きていく大切な力を養います。自分の感情を表出する時期や自分の思いや願いを言語に換えて発し始める時期、そして人の思いに気づき、想像をしてみる、感じる時期など、成長の度合いが著しい時といえます。共に居ることの喜びや仲間と共に過ごすことの喜びを見出す学童期になれば、語り合いのなかで、自分の思いや他者との違いに気づき、共に取り組むことによる達成感等を繰り返して、「人と人とがつながり合うことは、しあわせなことなのだ」と気づいていくことでしょう。それには思い通りにならないことや、受容できないことも数多くあり、それを共に越えていくことにより育っていきます

神戸市における虐待に関する相談・通告件数は、昨年度だけで1,868件です。5年間で約3倍も増加しており、前年度よりも320件も増加しています。これはたくさんの住民の方々の関心が増えていることにも起因することですが、家庭内での暴言や暴力の通報も急増していると言われていています。子ども達を守ることは当然のこととして最優先されるべきことですが、家庭の中でそうさせてしまう経緯や家族継続して支え合うしくみが十分ではなく、止むを得ず・・ということも多々あると言われております。

イエスは、自分を助けることができなかつた人達、逃げていった弟子達、そして何度も自分を否定した人に対して、責めたりすることはされなかつた。むしろ「あなたがたに平和があるように。」と言われたイエスは「隣人を愛せよ」だけではなく「敵をも愛するように」とも言われました。味方や敵という概念ではなく、全ての人に、この世に生まれた人にとという意味であります。「つながり合うことをしあわせと感じる」ことができるように、しっかりと今を育んでいきたいと願います。

年主題 『ことばに満たされて～ひびきあう～』

6月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	おもしろい	動き出す
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> * 保育者や身近な友だちと好きなあそびを見つける * まわりのものを見たり、触れたりして喜ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> * 神様の創られた自然の不思議さに目を向ける * 遊びを楽しむ中で自分の気持ちを伝えようとする * 友だちや保育者の言動、遊びに心を動かす
讃美歌	ひとりひとりの なを よんで	かなしいことがあっても こども改 131